地域医療支援病院・赤磐医師会病院

広報誌

コスモス

地域版
第12号

タイトル：冬の大山
撮 影 地：鳥取県地蔵峠
コメント：この年は雪が深く撮影に難儀しました。〈吉井外科医院　吉井康哲先生〉

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

ごあいさつ

赤磐医師会会長　**鈴木　邦次郎**

新年明けましておめでとうございます。皆様方にはご健勝にて新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は赤磐医師会病院に対し暖かいご支援とご協力をいただき感謝いたしております。この広報誌“コスモス”が病院の様子をお知らせする情報誌としての一翼を担っていることに感謝申し上げ、ますますの発展を祈っております。

さて、昨年は混沌とした世情のなかで、医療事情も諸問題を抱えてなかなか明るい兆しが見えてこない年であったように思えます。今年はどんな年になるのか関心をもって見守りたいと思います。

中央事情がどうであれ、私たちは地域の現場を担う医療従事者として、医療、福祉、介護等々の分野において地域の皆様のお役に立てるように、より一層のお互いの協力と連携を深め努力していこうではありませんか。赤磐医師会病院の運営は、決してたやすいことではないことはいうまでもありません。いよいよ今年は中長期計画に向けて具体的に検討に入ることになると思います。次なる発展に向けてさらなるご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご繁栄をお祈りいたします。

赤磐医師会病院院長　**川　口　憲　二**

新年明けましておめでとうございます。

昨年秋以降、当地でも新型インフルエンザが猛威をふるっており、なお終息の気配をみせていません。ワクチン接種が広く行き渡り、１日もはやく流行が治まってくれることを願うのみです。

さて、昨年末には病院外壁の塗装工事が完了し、また新しく駐車場前に看板を設置し、装い新たに新年を迎えることができました。

一昨年来、特定健診（メタボ健診）や乳がん検診体制を充実してまいりましたが、おかげさまで、昨年ご利用いただいた方は一昨年にくらべ160％と増加しており、本年も健診体制をより充実してまいりたいと存じます。

ここ赤磐地域は、高齢化率（65歳以上の方が人口に占める割合）が、県下でも上位の地区を抱えています。今後も増加が予想される高齢の方々が、安心して医療を受けられるように、引き続き救急医療をはじめ、各医院との病診連携を緊密にして、地域医療を担ってまいりたいと存じますので、皆様方からのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、新年が良い年となりますよう、職員一同願っております。

本年も赤磐医師会病院をよろしくお願い申し上げます。

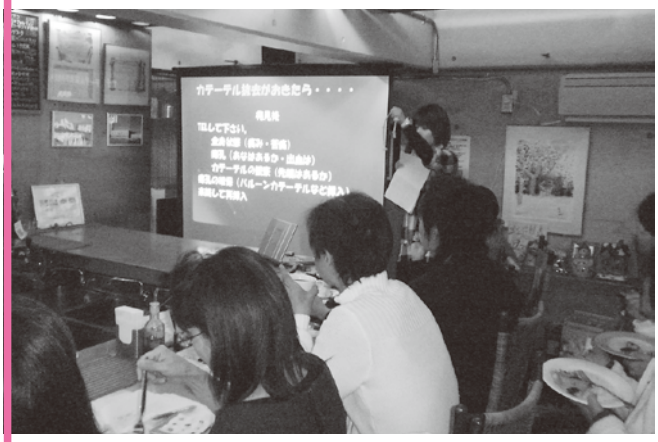
平成22年１月

『赤磐胃瘻（いろう）と栄養の研究会』を開催

内科医長　柚 木 直 子

高齢化の進行に伴い我々も高齢の患者さんの診療に当たることが多くなりました。最近は施設入所中の高齢の方の嚥下（えんげ）が困難になることによって起こる諸症状（誤嚥性肺炎、胃腸障害等）と、その対策としての食事療法（食事形態の工夫等）や胃瘻（食事が口からとれなくなった方などにお腹の上から直接胃に穴をあけて、そこから栄養や水分、薬などを注入する管）の造設などにかかわることが増えてきました。当院での胃瘻の造設件数も年々増加し、昨年は60件に達しました。当院ぐらいの規模の病院としては、他の検査件数と比較しても、この数はかなり多い方です。

この状況を考えると、私達もただ胃瘻を造るだけでなく、その前後（食事、栄養）についてもっと勉強し、施設や在宅の医療、看護、療養にかかわっておられる先生方はもちろん、看護師、栄養士、ケアマネージャー、施設職員の方々と密接な連携をとっていく必要があると思うようになりました。その第一段階として当院と関係の深い赤磐地域の施設（グループホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム等）を半年程かけて、看護師、管理栄養士とともに訪問見学させていただきました。大変勉強にもなり、またお互いに抱える問題も少し見えてきたように思いました。



赤磐地域の医療の連携を深めるために、今回初めて様々な職種の方と患者さんのために広く意見交換をする場を設ける試みの一つとして研究会を立ち上げてみました。その第一回を昨年末に開催しました。予想以上の反響と多数のご参加をいただきまして、大変感激しました。

病院との連携による継続治療、緩和医療等の会も立ち上げが進行していますし、今後は病院内だけでなく地域との連携を今まで以上に密にして、様々な取り組みをする必要があると思います。赤磐周辺地域のための医療支援病院をめざして、患者さんから信頼される病院になれるよう取り組んでいこうと思っています。

南３階病棟から

★南３階病棟は、療養型病床です。

病床数は30床で、医療療養型病床25床・介護療養型病床5床です。医療の必要性と介護の必要性は、患者さん個々により異なり、患者さんに適した環境を提供できるように努めています。長期療養の方も多く、医療依存度・介護度がだんだんと高くなりました。「自分の家族だったら」と、利用者・家族の気持ちになり、心ある声かけ、笑顔をもって、温かみを感じてもらえるように、看護・介護をコメディカルメンバーと連携しながら提供したいと頑張っています。

★療養型病床、及び当院での現状を紹介します。

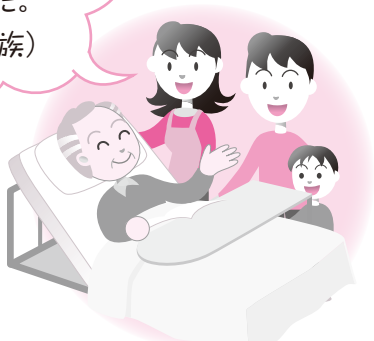
●医療療養型とは

医療保険の適用で、急性期の治療を終えても継続して医療の必要性が高く、病院で継続的療養が必要な方が対象となります。医療の必要度に応じて、医療区分１～３の３段階に区分されており、現在当院では比較的医療依存度の高い（医療区分２～３）方が入院されています。

●介護療養型とは

介護保険適用で、介護保険施設の一つで要介護認定を受けた方が利用できます。介護保険の施設サービス計画に基づいて、医学管理下でのケア（療養上の管理・機能訓練等）を提供します。当院は、病院に併設された介護療養型病床ですので、医療依存度の高い利用者の在宅療養を支援するために、５床のほとんどをショートステイで運用しています。現在、約20名の方がご利用されています。

ショートが利用できるので、家で介護が出来ます。この間に旅行にも行けました。（家族）



もっとゆったりしたスペースがあればよいのに…ちょっと狭くて窮屈です。（利用者）

平成23年度末には介護療養型病床の廃止が決定しています。（前政権のもと）在宅介護が脅かされることのないように、現場の声を社会に向けて発していく必要性を感じています。利用者の方はもちろん、介護者の負担が少しでも軽減できるように、ADL（日常生活動作）の維持・向上に努め、安心して過ごしていただけるように南３階スタッフ一同、支援していきます。

介護についての不安やご心配のある方は、南３階病棟及び地域医療連携室でご相談や見学等を受け付けています。

南３階病棟看護師長　**納所 百合美**
和気 矩子

栄養管理委員会から

管理栄養士　上山ひさよ・草谷　悦子

近年、多くの病院でNST（栄養サポートチーム）が設立され、医療と栄養の関係についての関心が高まってきています。当委員会は「入院時食事療養基準」において必須であり、開院当初から月１回定期的に開催し、患者さんを栄養の面からサポートするという観点で、意見の交換、及び検討をしています。

●目　　的

適切な栄養管理の実施により、利用者の健康管理や疾病治療・予防の向上に努めるとともに、利用者に快適な食事時間を提供すること

●開　　催

毎月１回（第４月曜日　14：30～）

●構成委員

院長、事務長、総看護師長、施設管理栄養士２名、各病棟看護師５名、給食委託業者の代表２名

●協議事項

(1)　給食に係わる衛生及び栄養にかかわること。
- 食中毒、O－157、ノロウイルス対策など

＊インフルエンザ大量発生時（パンデミック）の食糧確保についても検討しました。

(2)　一般食、特別食及び献立調理に関すること。
- 献立、味付け、行事食など

＊嚥下食、非常食、トロミ茶、行事食（デザート・もちなど）も実際に試食

(3)　食器、調理器具及び施設に関すること。
- 食器の更新、調理器具購入などの検討

(4)　材料の購入に関すること。
- 食材、濃厚流動食、トロミ剤など

＊内容、価格、利便性を検討

(5)　嗜好に係わる調査（残菜調査を含む）や苦情処理及びその対応に関すること。
- 要望、クレーム、嗜好調査（アンケート）など

今後とも、患者さんの治療に役立ち、かつ安全でおいしい食事づくりをしていくため、皆様のご意見も多数いただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

マンモグラフィー検査について

マンモグラフィー

マンモグラフィーとは乳房のレントゲン撮影のことです。

専用のレントゲン装置を使って撮影します。乳房を片方ずつフィルムを入れた台と透明な板で挟み、斜め方向や上下方向から撮影します。

乳房を圧迫して薄く均等に広げることにより、重なりを少なくし、少ない放射線線量で鮮明に撮影することができます。

マンモグラフィーは、エックス線検査ですので、放射線被ばくがありますが、一回の撮影で乳房が受ける放射線の量は東京からニューヨークを飛行機で往復するときに浴びる自然放射線の量（0.2mSv）よりも少ない量（0.15mSv）です。

当院では赤磐市乳がん検診（視触診＋マンモグラフィー）を実施しています。

平成20年度は48名、平成21年度は279名の方に、受診していただくことができました。撮影は主に女性技師が行っています。機会がありましたらぜひ、マンモグラフィー検診を受けましょう。

放射線科　診療放射線技師　船山　麻弓

干し柿とかぶの和え物

<1人分> エネルギー60㎉・タンパク質0.4g・塩分0.8g

★お正月、美味しい物を食べたり飲んだりして、少し胃が疲れていませんか？
そんな時さっぱりした酢の物はいかがでしょうか。
今回は干し柿を使った酢の物をご紹介します。

材料（2人分）

かぶ …… 中1個
干し柿 …… 1個
塩 …… 小さじ1/3
米酢 …… 大さじ1

作り方（参考：インターネットレシピ）

① かぶは葉と茎をとり、皮のままよく洗って半分に切ってさらに薄切り。塩少々をふって5分ほどおく。

② 干し柿はぬらした布で表面をさっと拭き、へたをとって5㎜くらいの幅に切る。

③ ボウルに米酢と塩をよく混ぜて、②の干し柿を入れて和える。さらに①のかぶの水気をよく絞って加える。

④ しばらくなじませた後、器に盛り付ける。

※米酢150ccに5㎝角くらいの昆布を入れて1日おくと昆布酢ができます。
これを使うとさらにまろやかになります。

ポエムコーナー

心が薫る場所

砂川が流れてそばに桜の木がある
長いトンネルを通り抜けると
白い建物
その中に入ると温かい空気が一面に
広がって来る
ふれあいと笑顔があふれ一人一人が
輝きが見える
心が薫る場所〝赤磐医師会病院〟

黒田　秀章

poem

あとがき

コ ミュニケーション（対話）
ス マイル（笑顔）
モ ビリティ（機敏性）
ス キル（技術）

新年あけましておめでとうございます。
昨年末には病院外壁の塗り替えを行い、工事中はご迷惑をおかけしました。また暖かい色の看板を新しく設置しました。
気分一新、今年も頑張っていきたいと思います。
新型インフルエンザの流行もあり、皆様の健康に対する関心がより強まっているのではないでしょうか。
『コスモス』がお役に立てればと思っています。（編集部）

地域医療支援病院 赤磐医師会病院
〒709-0816　岡山県赤磐市下市187-1
TEL 086-955-6688 ㈹　　FAX 086-955-4946
E-mail:akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp　　http://www12.ocn.ne.jp/~akaiwahp/
発行日　平成22年1月15日